

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果や、自社の状況を踏まえて適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、人材投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には、賃金の引上げについて当社を取り巻く経営環境、当社の業績を踏まえた上で労働組合との真摯な協議を通じ、従業員のモチベーションおよびパフォーマンス向上につなげるべく取り組んでまいります。

また、人材投資については当社が心豊かで持続可能な社会の実現を支える存在であるための原動力が人材であり、価値創造の源泉であるという考えのもと、多種多様な能力開発機会の提供や具体的な育成施策を通じて従業員一人ひとりが、誇りと責任を持っていきいきと働き続け、会社とともに成長し続ける環境の構築に取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日
【2023年12月27日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL
【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/48427-08-00-tokyo.pdf>】

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は、ステークホルダーの皆様との対話を通じ、健全な関係の維持、発展に努め、信頼関係の構築に取り組んでまいります。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

2024年1月5日

三井倉庫ホールディングス株式会社

法人名

代表取締役社長 古賀博文

役職・氏名（代表権を有する者）